

2024年度

一般勘定・介護勘定

決算

保険料の増加により、別途積立金を繰り入れることなく**実質収支は黒字の状況**

8月5日に開催された組合会において、全員一致で可決、承認されました。

一般勘定 (健康保険)

実質収支 **292百万円の黒字**

収入総額

12,666
百万円

健康保険料 12,187百万円(96.2%)

調整保険料収入 177百万円(1.4%)
財政調整事業交付金 224百万円(1.8%)

※単位以下の四捨五入により総額と各項目の合計額が異なります。

健保組合の主な収入源は、みなさんと事業主から納めていただいた保険料です。
2024年度の保険料率は1000分の91.0でした。

その他収入 78百万円(0.6%)

支出総額

12,374
百万円

保険給付費 6,260百万円(50.6%)

納付金 5,585百万円(45.1%)

事務費 94百万円(0.8%)

疾病予防のための各種健診・保健指導、体育奨励、
契約保養所・常備薬斡旋などにあてられます。

保健事業費 247百万円(2.0%)

財政調整事業拠出金 177百万円(1.4%)

その他 7百万円(0.1%)

みなさんが病気やケガをしたときにかかった
医療費等の支払いにあてられます。

世代を超えた保険の支え合いとして、高齢者の医療費を
健保組合等の保険者が国に納付しているもので、健保
組合にとって大きな負担となっています。

連合会費 4百万円(0.0%)

● 支出を1人当たりでみると…

保険給付費
322,342円

納付金
287,625円

保健事業費 12,721円
その他 14,505円

決算の基礎数値(一般勘定)

被保険者数 19,419人
平均標準報酬月額 429,233円
総標準賞与額 36,609百万円



2024年度の決算は、別途積立金を繰り入れる
ことなく黒字となりました。しかしながら、健保
組合を取り巻く情勢は、少子化や人口の減少、
高齢化、医療費等の増加などにより、依然として厳しい状況
にあり、**当健保組合においても、2025年度は別途積立金
を繰り入れる予算**となっています。

当健保組合では引き続き、事業の見直しや事務の効率化等
による経費削減に取り組むほか、人間ドックや巡回健診
など、健康づくりのサポートも行っていきますので、みなさん
も健康意識を高め、病気やケガを予防しましょう。

介護勘定 (介護保険)

実質収支 **120百万円の黒字**

健保組合では、40～64歳の本人
加入者から介護保険料を徴収し、
国に納めています。2024年度の
介護保険料率は1000分の17.6
(労使折半)でした。

収入総額

1,568
百万円

介護保険料
1,568百万円

支出総額

1,448
百万円

介護納付金
1,448百万円

